こどもまんなか
こども家庭庁

いけんひろば

～こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？～

フィードバック資料

令和６年12月23日（オンライン開催）

令和６年12月26日（対面開催）

令和６年11月26日～12月9日（アンケート開催）

2024年度こども若者★いけんぷらす

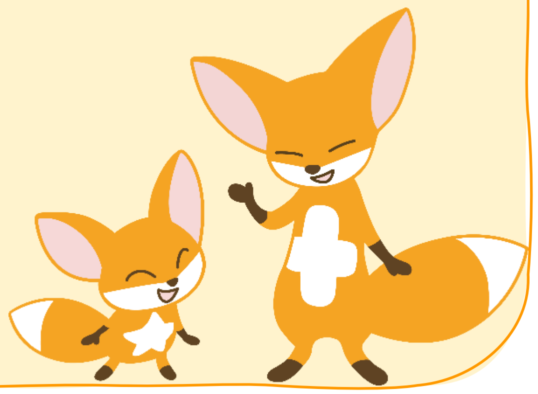
目次

1. 開催概要（オンライン・対面 ／ アンケート）

2. 意見の反映について

3. 参加者の意見（オンライン・対面 ／ アンケート）

4. 参加者アンケート（オンライン・対面）



１.開催概要（かいさいがいよう）

1．開催概要（オンライン・対面）

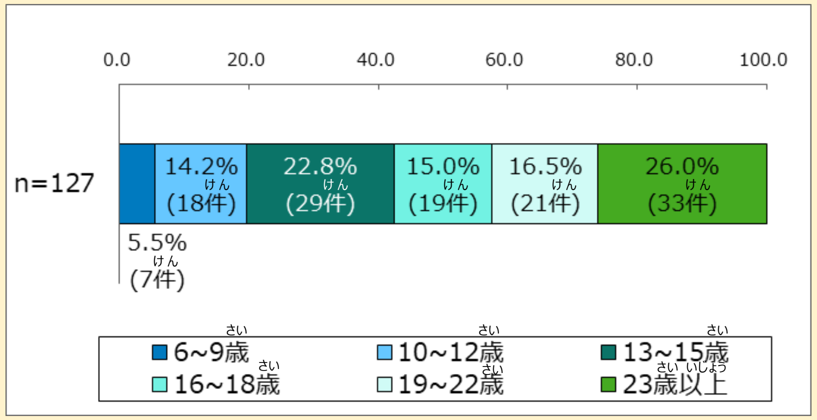
テーマ	こども・若者が社会に参画し、意見を表明していると実感できるようになるには？
担当省庁	こども家庭庁
テーマ説明	みなさんは普段「意見」を言えていますか？ こども家庭庁は、こども・若者の社会参画や、意見の政策反映について取り組んでいます。 全国のこども・若者のみなさんが、「社会に参加できている！」「意見を伝えられている！」と感じられる社会を作っていくため、国の今まで行ってきた取組の改善点や、今後国がどのようなことに取り組んでいくと良いのか、みなさんの意見をお聴きしたいです！

	オンライン回	対面回
参加対象者	ぷらすメンバー全員	ぷらすメンバーのうち、 九州・沖縄・中国地方在住者
開催日時	令和６年12月23日（月） 19：00 ～ 21：00	令和６年12月26日（木） 13：00 ～ 15：00
開催場所	Webex	北九州市立子ども図書館 大研修室
参加人数・グループ数	➢ １・２班合同班・・・小学生５名 ➢ ３班・・・中学生６名 ➢ ４班・・・中学生・高校生年代４名 ➢ ５班・・・大学生～社会人年代５名	➢ １班・・・小学生５名 ➢ ２班・・・小学生６名 ➢ ３班・・・中学生・高校生年代５名 ➢ ４班・・・社会人年代３名

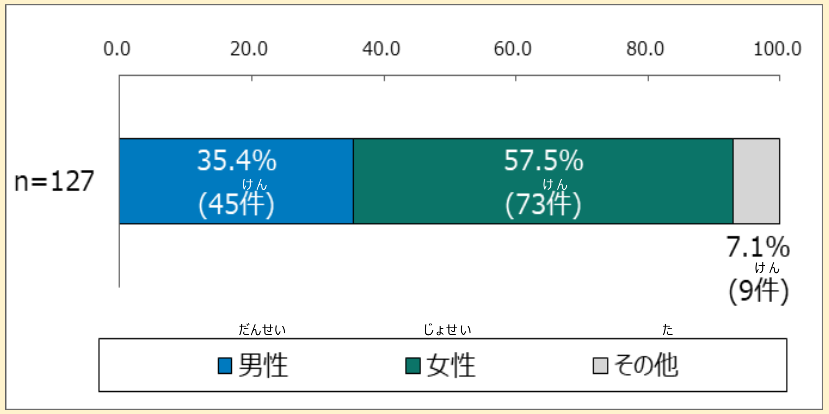
1．開催概要（アンケート）

テーマ	「こども若者★いけんぷらす」ってどう思う？
担当省庁	こども家庭庁
テーマ説明	令和５年からはじまった「こども若者★いけんぷらす」。今まで約40のテーマで、延べ約3,600人（令和６年11月20日時点）の方から意見をきいてきました。たくさんの意見をいただきありがとうございました。 もっとみなさんが「参加したい！」「意見を言いたい！」と思える「いけんぷらす」にするために、みなさんの意見をもとにして改善していきたいです。ぜひ、みなさんのいけんぷらすへの意見・感想・疑問をきかせてください。
参加対象者	ぷらすメンバー全員
開催方法	WEBアンケート
開催日時	令和６年11月26日（火）～12月9日（月）
回答数	127件

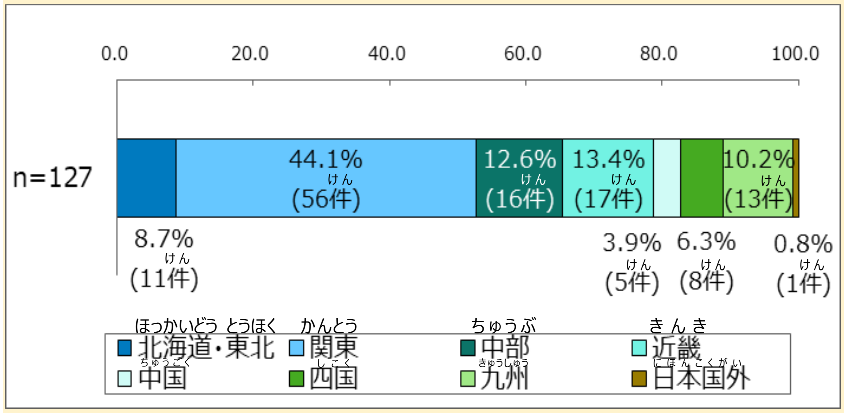
年齢



性別



お住まい



２.意見の反映について

2． 意見の反映について

意見表明・社会参加について、たくさんの意見をお寄せいただき、ありがとうございました！

ぷらすメンバーとして何度も「いけんひろば」に参加したことのある方、ぷらすメンバーに登録したばかりの方、登録しているけれどまだ「いけんひろば」には参加したことがない方など、様々な立場から多様な意見を聴くことができたことは、『こども若者★いけんぷらす』をより良くしていくうえで、とても大切なことだったと感じています。

いけんぷらすは、一年を通して、より良くするための話合いを重ねながら進めています。
みなさんの意見は、そうした話合いの中で取り上げながら、**すぐにできることは年度内に取り入れ、時間のかかるものは長期的な課題にしながら、大切に活かしていきます。**

また、いけんぷらすだけでなく、こども・若者の意見を政策に反映する様々な機会においても、みなさんの意見から気づいたこと、学んだことを活かしていきたいと考えています。

３.参加者の意見（オンライン・対面）

小学生

こどもまんなか こども家庭庁

1．「意見を聴いてもらえている」状態について

➢ 「意見を聴いてもらった」経験について教えてください、「意見を聴いてもらえなかった」経験について教えてください

主なみなさんの意見

ポジティブな経験

- 総合や学活の時間で「どうしたら仲が深まるか」をテーマに考えた時に自分の意見が採用された。「その意見いいね」と言ってもらえた。
- こども家庭庁の対面のいけんひろばで共感してもらえたときに意見をきいてもらえたと思った。
- 学校の教頭先生に「自分の学校は運動会のみで発表会がないので、発表会を復活させてください」とお願いしたときに、意見をきいてもらえたと思った。発表会は復活しなかったが、開催していない理由を説明してもらえてわかりやすかった。

ネガティブな経験

- 意見をきいたとしても何かを実行してくれないと意見をきいたことにはならない。
- 多数決では、自分の意見が少数派であるとき、反映されないと感じる。決定事項に少しも少数派の意見が反映されないと悔しいと思うときがある。
- 学校の授業中に、残り時間がないと、挙手していてもスルーされることがある。
- 自分の意見を言ったのに、先生が解決につなげてくれなかったときは、きいてはもらえているけどきくだけで終わってしまうと感じる。

反映のポイント

- 共感や賛同など前向きに受け止められることが、「聴いてもらえた」と感じることに繋がる
- 対応が難しい場合に丁寧に説明することが大事

- 意見をもとに何かが実行されていること、決定事項に影響を与えることが重要

フィードバック

いけんぷらすにおいては、

- 参加者の皆さんが安心して、意見を言えるような環境
- 「意見を言って終わり」にならないように、結果がどうなったのかフィードバックする

ということを大切にしていますが、この取組を続けていきたいと思います。

- いろいろな人の声を聴き、こども・若者の皆さんにとって、何が大切なのかを考えながら、政策は決まります。
  このため、皆さんの意見と、異なる結論となることはありますが、その理由を丁寧に説明していきたいと考えています。
- また、意見を検討する中で、大人が学んだことや気づいたこと、皆さんの意見によって影響を受けたことも、しっかり伝えていきます。

2.「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

中学生以上
小学生

こども家庭庁

➢ どういうふうにしてもらったら「意見を聴いてもらえている」と思いますか

主なみなさんの意見

意見を伝えられる

- 意見を反映されるかどうか別として、きいてもらえることを指す。（社会人年代）

その場でリアクションがある

- ちゃんと人の目を見て話をきくことが一番大事だと思う。（小学生）
- 自分が言ったことに対して「いいね」と言ってもらえたり、アドバイスをしてくれたり、言った意見について何か考えて答えてもらえる（小学生）
- 結果が出なくとも、意見をきいてきちんと向き合ってもらえれば、きいてもらえたと感じると思う。（高校生・高専生年代）

意見に返答がある

- 意見を反映できない理由を言ってもらえたら。（小学生）
- きいてもらうだけじゃなくて大人の考えも知りたい。（小学生）
- 自分の意見に対して「自分はこう思う」と言ってもらえるとちゃんときいてもらえた感じがする。（小学生）
- 政策に（何らかの形で）活かされていると確認できたりすれば。（中学生）
- 実現が難しい意見だったとしても、「こういった理由で難しいです」や「実は既に検討中です」といった返事が返ってきたほうが納得できる。（中学生）
- 返答があり自分の意見に興味を持ってもらえていること、意見が反映されていることが分かれば。（中学生）
- 実行できなくてもしっかりとした返答があってコミュニケーションができていれば。（大学生・大学院生年代）

反映のポイント

大人側の聴く姿勢、意見を受け止める姿勢が大事

フィードバック

- いけんぷらすにおいては、参加者の皆さんが安心して意見を言えるような環境を大切にして、「意見を言って終わり」にならないように、結果がどうなったのかフィードバックするということを大切にしており、この取組を続けていきたいと思います。
- また、意見を聴いて、大人が学んだことや気づいたこと、皆さんの意見によって影響を受けたことも、しっかり伝えていきます。

2.「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

中学生以上

小学生

こどもまんなか こども家庭庁

➢ どういうふうにしてもらったら「意見を聴いてもらえている」と思いますか

主なみなさんの意見

意見が反映される

- 実行してもらえないと何も変わらないのでしっかりと実行してほしい。（中学生）
- 自分が伝えた意見が反映されて行動に移された時。（中学生）
- 理想としては実行まで移してほしい。（中学生）
- 「こうしてください」といったことが実行されて、「実行された」とわかれば。（社会人年代）
- 意見をきいてもらえると感じることの第一は政策実現。（社会人年代）

その他

- 人それぞれ違い、色んな答えがあると思う。一概に決めなくて良い。（社会人年代）

反映のポイント

意見が実行されていることが必要

一概には決められない

フィードバック

- いろいろな人の声を聴き、こども・若者の皆さんにとって、何が大切なのかを考えながら、政策は決まります。
- このため、一般として、皆さんの考えと、異なる結論となることはありますが、その理由を丁寧に説明していきたいと考えています。

- 聴いてもらえていると感じるポイントは、人それぞれ違うと思いますが、意見反映の取組を進めていくことの意義はたくさんの人に理解していただく必要があると考えています。
- こども家庭庁としては、多くのこども・若者に「意見を聴いてもらえている」と思っていただけるように、意見聴取の取組を行うとともに、フィードバックの取組も進めていきます。

2.「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

中学生以上
小学生

こどもまんなか こども家庭庁

➢「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をするとよいですか

主なみなさんの意見

身近な方法で意見を言える場づくり

- どこに住んでいても近くで意見を言えるようだといい。（小学生）
- SNSなどオンラインで意見を言えるようになるといいと思う（大学生年代・大学院生世代）。
- 学校で貸与されているタブレットからこども若者★いけんぷらすのアンケートに参加できるようになると国に意見を伝える事が身近になる（実施後アンケート 匿名回答）。

職員が、こども・若者がいる場に出向く

- 同じテーマで色々な地方で対面のいけんひろばを開催してほしい。（小学生）
- こども家庭庁や自治体職員が、週１～２回程度、中学校・高校に来て、意見を言えるような機会があったら良い。（高校生・高専生年代）

反映のポイント

身近な場所・方法で意見を言えることが大事

いろいろな場所で、意見を聴くことが大事

フィードバック

- いけんぷらすでは、オンラインやアンケートなども利用可能です。
- 簡単に参加できることも大事ですが、誰もが言いたいことが言える、また、言いたくない人が意見を言わないという安心安全な環境を作るのも大事だと思っています。

- 多様な声を聴くことは大切なことだと考えています。
- いけんぷらすでも、人件費、旅費など予算の制約はありますが、令和７年度はできる限り様々な場所で意見を聴きたいと思います。
- 自治体が意見を反映する取組をサポートするために、ファシリテーター派遣やファシリテーター養成講座を実施しています。

→ これらの考え方はこどもまんなか実行計画2025という国の計画にも書きました。（p.96,99など）

2.「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

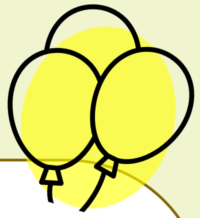
中学生以上
小学生

こどもまんなか
こども家庭庁

➢ 「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をするとよいですか

主なみなさんの意見

フィードバックを充実させる



- 意見を受け取った側が意見を反映した政策をとってくれると意見をきいてもらえた実感がある。ちゃんとフィードバックを返してもらえると、「本当に意見をきいてもらえるんだ」と感じる人が増えて、それによって「ちょっと面倒だけど意見を言ってみようかな」と思う人が増えると思う。（中学生）
- フィードバックがまとまって届く。もっと早いレスポンスやこの段階まで進んだという反応があるといい。フィードバックも大事だが、フィードバックに至るまでの過程もあるといい。
（大学生・大学院生年代）

反映のポイント

フィードバックが大事

フィードバック

- 「いけんぷらす」では、「聴いて終わりにする」のではなく、フィードバックすることが大事だと考えております。
- テーマによって、フィードバックできる時期が半年だったり、数年だったりと時期が異なりますが、きちんとプロセスや結果をお伝えできるようにしたいと考えています。
- わかりやすさ（視認性）、速さ（迅速性）、多くの声への返答ができているか（網羅性）のバランスに苦心していますが、令和7年度は、よりわかりやすく、かつ、多くの人に読んでもらえるような工夫をしたいと考えていますので、ぜひお手に取っていただければと思います。

2．「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

中学生以上

こどもまんなか
こども家庭庁

➢「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をするとよいですか

主なみなさんの意見

こども・若者発信の意見を聴く場をつくる

- 学校の意見を集約した生徒会長などの代表者が市区町村で政治について話し合い、同じように都道府県やエリアごとで意見を集約していき、最終的に全国のこどもの代表が政策に関わる人たちの前で話し合う仕組みにする。（中学生）
- 今は国がききたいことについていけんぷらすできかれていると思う。私たちが言いたいこともテーマに入れるようにしてくれていると思うが限られている。こども若者が本当に考えていることを伝えられる場をもう少し増やしてほしい。
（大学生・大学院生年代）
- こども家庭庁が「何に困っているか」「国に何してほしいか」を（こども・若者に）聴いたうえで、色々なところに、こども・若者はいまこういうことを考えていて、こういうことに困っていて、こういう解決をしてほしいようだ、と伝えてほしい。そのうえで、（各省庁が）フィードバックをしてくれたら「自分たちの意見を聴いてもらえた」「生活が良くなった」と実感できると思う。
（大学生・大学院生年代）

反映のポイント

いけんひろば以外の方法や、こども・若者が伝えたいことについて意見表明ができる機会が必要

フィードバック

- いけんひろばのみならず、全国の地方自治体において、意見を聴いて政策に反映させる取組が進むように、
○職員向けのガイドライン作成
○自治体の意見聴取へのファシリテーター派遣
○ファシリテーター養成講座
などを行い、場を増やせるように実施しています。
- これらを引き続き行うため、こどもまんなか実行計画2025においてもそうした内容を盛り込んでいます。（p.100など）
- なお、いけんひろばは、特定の政策への意見反映を前提としているため、施策を問わない形で、意見をお伝えいただく場としては想定していませんが、ぷらすメンバーの希望を踏まえたテーマの実施にも取り組んでいます。

2.「意見を聴いてもらえている」と思えるための仕組みについて

中学生以上

こどもまんなか こども家庭庁

➢「意見を聴いてもらえている」状態を実現するために国は何をするとよいですか

主なみなさんの意見

意見を伝える場などについてこども・若者に知らせる

- こどもの意見が通った成功例がないと、「どうせ伝えても通らないんだな」と思う。成功例を提示したほうがが良いと思う。（中学生）
- 意見の発信ができる場所をまとめてもらうとすごく助かる。（高校生・高専生年代）
- 「話してよい人がいる」ことを伝えることが大切だと思う。（社会人年代）

おとなに向けて啓発をする

- こどもたちから意見をきく立場にある人たち（先生など）に向けて研修を実施する。（中学生）

反映のポイント

意見を伝える機会を皆さんに伝えていくことが重要

おとなに意見表明の大切さを知ってもらう

フィードバック

- こどもまんなか実行計画2025にも意見を聴いて反映した良い事例を広めて、こども・若者が自由に意見を表明しやすい環境整備に取り組むことなどが盛り込まれました。（P.98 など）
- 反映の実例は「こども白書」にも書かれているので、ぜひ見てみてください。（P52など）
- 「いけんぷらす」についても、多くのこども・若者に知ってもらうべく、いけんひろばの一覧や、反映の実例など広報により力を入れていきたいと思います。（具体的な方法については、いただいた意見やみんなのパートナーぽんぱーとも議論をしながら考えていきます。）

- こども・若者の意見を聴くことの大切さについて、自治体向けに説明をしたり、ファシリテーター養成講座を開いたりして、意見を聴く大人への働きかけを進めています。
- こども家庭庁の他の担当などとも連携して、意見を言うことの大切さを、こどもと関わる大人に知ってもらうために、取り組んでいきたいと思います。

４.参加者(さんかしゃ)の意見(いけん)

（アンケート）

1. 意見を聴かれたという実感について(1/2)

こども家庭庁

「いけんひろば」に参加してみて、あなたの意見が聴かれたと感じましたか？また、そう感じた理由も教えてください。

主なみなさんの意見

「聴かれた」と答えた人の意見

＜自分の意見を伝えられた＞

- 自分の経験や素直な気持ちなど、話したいことを話せたから。
- 話を遮られることなく、また全員が全員の話をきいて意見を出し合えていたと感じたため。

＜ファシリテーターが言いやすい場をつくってくれた＞

- ファシリテーターの方が上手にミーティングを進めてくれたおかげで、全員が意見を出すチャンスが何度もあったから。
- オンラインで、司会の方が、意見があるかを丁寧にきいてくれた。

＜意見が記録された＞

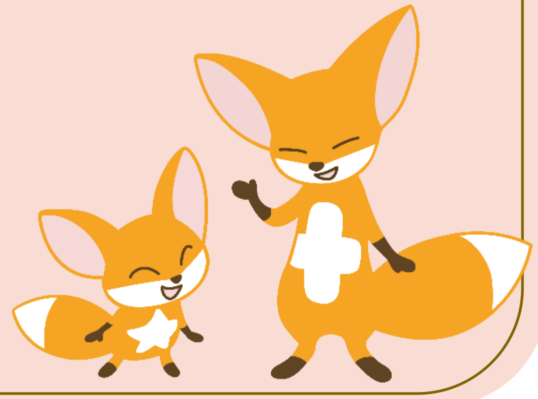
- いけんひろば当日に、皆の前で言う勇気がなかった意見や言いそびれた意見を"後から出た意見"として載せて貰えて、緊張したり体調が良くない時でも焦らないで大丈夫だと感じられたから。
- 後に送られてくる報告書に、自分の意見がしっかり記載されていたから。

反映のポイント

「いけんひろば」で「意見が聴かれた」と感じられる

フィードバック

- こども家庭庁としては、いけんひろばで「意見を聴いてもらえた」と感じてもらえるように取り組んでいます。
- 皆さんのご意見から、意見を言えたときや記録されたときなど、様々な段階で「聴かれた」と感じるポイントがあるのだとわかりました。
- これからも、しっかり意見を聴く場づくりに取組んで、いけんひろばを丁寧に実施していきます。



1. 意見を聴かれたという実感について(2/2)

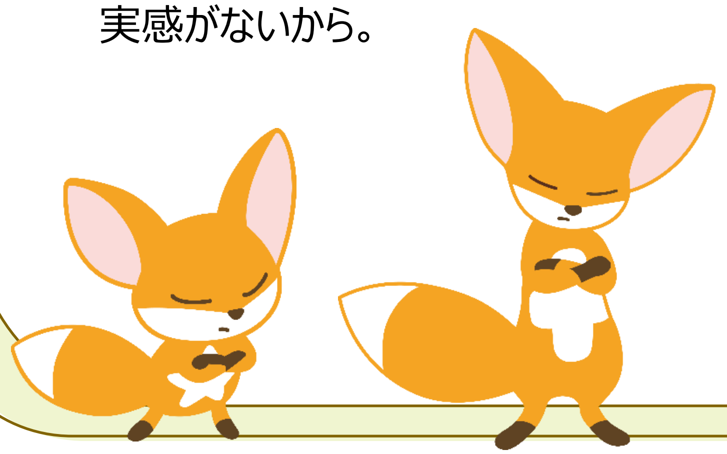
こどもまんなか こども家庭庁

「いけんひろば」に参加してみて、あなたの意見が聴かれたと感じましたか？また、そう感じた理由も教えてください。

主なみなさんの意見

「どちらともいえない/聴かれなかった」と答えた人の意見

- 意見を言い合う時間が少なかったと感じたから。
- 聴かれている部分と聴かれていない部分があるから。
- いけんひろばの報告資料に記載されたことは確認したが、その後フィードバック資料を確認できていなかった。
- 自分の意見だけでなく、こどもや若者に関わる政策面全てで、改善に向けた取り組みが行われているという報道をニュースなどでほとんどきかないし、自分でもその実感がないから。



反映のポイント

十分な意見表明機会の確保

表明した意見の取扱い

フィードバック

- 年代や設問数やテーマによって、長いと感じた、短いと感じたという様々な声をいただいています。いけんひろばの時間には制約はありますが、参加者が限られた時間の中でも十分に意見を言うことができ、それが反映されたことが実感できるよう、引き続き運営面や資料の工夫を行います。

- 意見を聴いた政策について、必ずしも報道されない場合もありますし、こども若者にとって何がいちばん良いかを検討した結果、伝えた意見が100%反映されないこともあります。また、テーマによっては、結果をフィードバックできるまで年単位の時間がかかることがあります。
- いずれにしても、意見聴取して終わりではなく、意見反映に関する結果について、わかりやすい発信などに努めていきますので、ホームページなどで引き続き見ていただけたら嬉しいです。

2. フィードバック資料について

フィードバック資料をみて、あなたの「いけんひろば」での意見に照らして、フィードバックが十分にされていると思いましたか？また、そう思った理由を教えてください。

主なみなさんの意見

「どちらともいえない/そうは思わない」と答えた人の意見

- 省かれていたから。
- 自分の意見はあったが、そこまで重要な意見ではなさそうだと思ったから。
- 発言としての記録はあったけど、それだけって感じだったから。
- 自分の意見を一部反映された部分があったが、詳細は反映されていないと感じたものもあったから。
- もっとフィードバック資料に意見を詳しく書いてくれたら参加したくなります。
- 自分が回答した内容と似たような内容がある可能性もあるし、特にアンケート形式ではそれがわかりづらい。

反映のポイント

- **フィードバック資料の記載の仕方や方針を伝える必要がある。**
- **意見が大切にされていると伝わる資料であることが大事。**

フィードバック

- いけんぷらすのフィードバック資料では、意見をすべて掲載すると膨大になってしまって、読みづらい、わかりづらい、というお声もいただくので、類似の意見はまとめています。
- 全ては書けなくても、みなさんの意見は大切な声であることが伝わるよう、発信の仕方に工夫をしていきます。
- いただいた意見については、実際に反映されたかされていないかにかかわらず、すべて重要なご意見だと考えています。
- ただし、一般論として、いろいろな人の声を聴き、こども・若者の皆さんにとって、何が大切なのかを考えながら、政策は決まります。
- このため、皆さんの考えのとおりにすべて実行することは難しく、皆さんの考えと、異なる結論となることもあります。その理由を丁寧に説明していきたいと考えています。

3. いけんひろばに対する印象の変化

「いけんひろば」に参加する前と後では「こども若者★いけんぷらす」への印象は変わりましたか？また、そう思った理由を教えてください。

主なみなさんの意見

「良くなった」と答えた人の意見

＜他の人の意見を知れたから＞

- 人それぞれで意見が違うことを知る機会があると、世の中の見方が変わる気がする。

＜雰囲気が良かったから＞

- 思ったよりもアットホームな雰囲気で居心地が良く、全員の意見が尊重されていると感じたから。
- 同世代の人と意見交換できる貴重な機会だから。

＜内容がしっかりしていたから＞

- 質問内容が詳しく、課題について真摯に向き合っているのが分かったから。

「悪くなった」と答えた人の意見

- せっかく時間を割いて意見を発信しているのに、実際の政治では、その意見を無視したような政策ばかりが続いているように感じ、果たして「いけんひろば」が開催されている意味・意義はあるのか疑問に思うことが多いから。

反映のポイント

安心して意見交換ができる環境が大切

いけんひろばの意義が感じられない

フィードバック

ありがとうございます。
これからも安心・安全な場づくりを大切に事業をやっていきます。

いけんひろばでは、各府省庁が政策を実行していくにあたってみなさんのご意見を聴くことを目的としているため、政治への意見表明の場ではないことについてご理解いただけると幸いです。

4. いけんひろばに対する意見（1/6）

●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こどもまんなか こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見

開催場所や時間を工夫する

- ● 自分の住んでいる地域で開催して頂けたら行きやすいです。
- ● 沢山のメールがくるけれど、一部の意欲的で余力を持てる有能な人たちが頑張っているんだなと気後れする。地域ごとや年齢ごとなど、せまい対象での募集なら使命感を持って参加しようと思うかもしれない。
- ● 日程を選択できるようになるとなお良い(いくつかの日から選択出来たり、対面なら午前午後選べたりすると良い)。
- ◆ いけんひろばが基本的に平日の夕方か土曜日の午前中しかなく、土曜日学校があったり、遠い学校に通っていたり、部活動や課外活動に熱心に取り組んでいたりする人が参加しづらい。日曜日や平日のもっと遅い時間の開催も検討して欲しいです。

反映のポイント

開催場所や開催時間についての工夫

フィードバック

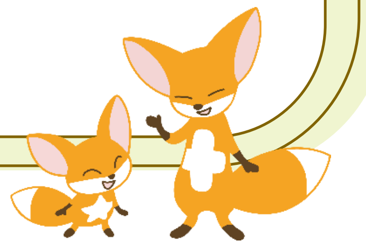
みなさんの「参加しづらさ」についての意見は、とても大切です。人員や時間、予算などの制約もありますが、できるだけ多様な機会の中から参加しやすい方法を選んで参加いただけるよう、テーマ、参加年代、手法（対面、オンライン、アンケートなど）などを多様に設定できるように取り組んでいます。
全てをあらゆる地域やあらゆる手段で開催することは難しいですが、令和7年度事業においては、日曜日に開催したり、施策に合わせた対象に絞って開催したりするなどの工夫を行っています。

●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こどもまんなか
こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見	反映のポイント	フィードバック
開催方法を工夫する ● 対面でのいけんひろばが増えると行きやすいです。 ● チャットやzoomなどで意見を言わずとも気軽に参加・聴講できる機会があるといいなと思いました。 ● チャットでのいけんひろばを増やして欲しい。	**いろいろな方法で開催してほしい**	• 手法それぞれには一長一短があるので、時期や対象年代などを踏まえながら、テーマ担当課に相談しながら、一番効果的だと思うものを用いています。 • ぷらすメンバーそれぞれ参加しやすい方法は違うということを考えながら、今後も開催方法に工夫をしていきます。
多様な意見を聴く ● 男女の比率が同じくらいになったら最高だな、と思います。これまでに２回、いけんひろばに参加させていただいたのですが、いずれも女性が多い印象でした。 ● 対象年齢を限定しすぎている気がする。ある世代にフォーカスした意見をききたいとき、その世代だけに意見をきくのではなく、その上の世代にもきいてみたほうが、より深い意見がでるのではないか。	**多様な意見を聴くための工夫**	• 様々な立場の方の声を聴くことは大事だと考えています。予算や体制などの制約はありますが、できる限り多様な立場の方に参加いただけるよう努めます。 • 対象年代については、政策目的や意見を聴きたい理由に鑑み、テーマ担当課において最善と思われるものに決めています。意見を聴ける人数の制約などから、必ずしも幅広い世代に聴くことができない場合もあります。



4. いけんひろばに対する意見（3/6）

●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こどもまんなか
こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見

参加しやすくする

- ◆ 顔を出すのが苦手に感じた。
- ◆ 友人などと一緒に参加できると応募のハードルが下がると思う。
- ● いけんひろばの様子を事前に動画などで確認できると応募しやすいと思う。
- ● いけんひろばは任意だけれど塾や習い事で忙しい中参加している子もいると思うので、参加した事を学校で先生が認めたり、部活動のように学校外の活動として認めて貰えるようになったら良いと思う。

反映のポイント

いけんひろばに気軽に参加できるようになりたい

フィードバック

- オンラインでも「顔出し」は必須ではありません。また、アンケートでのいけんひろばもテーマによってはご用意しています。
- 友人と一緒にご応募いただくのも大歓迎です。
- 事前説明会では、はじめて参加する方向けに、過去のいけんひろばの様子を写真でお見せするとともに、今年度からは、いけんひろばの様子・結果をSNSで投稿していますので、ぜひ見てみてください。
- 自ら伝えたいと思ったことに対して意見を伝えるということを大切にしたいので、今は参加したことで何かをもらえるという仕組みは設けていません。その分、「参加して良かった」と思える場になるように努めていきます。

4. いけんひろばに対する意見（4/6）

●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こどもまんなか こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見

テーマについて

- ◆ いけんひろばで話し合うテーマについて、いけんひろばだけでなく、登録者全員が出せるアンケート形式でも意見を出せるようにしてほしい。
- ● もっと小学１年生が参加できるテーマがいい。
- ● もう少し多くのテーマや身近なテーマがあれば嬉しいです。進学や学校、これらにまつわる枝分かれしている課題など。20歳以上の方には、別のテーマがあると思います。

反映のポイント

いけんひろばのテーマ設定に関わりたい

フィードバック

- テーマによっては、アンケートでのいけんひろばも実施していますので、ぜひご参加ください。
- テーマは、各省庁から「意見を聴きたい」と登録のあったものを元に設定しています。そのテーマに関する施策の対象に応じて、小学生から参加できるものもあれば、大学生・社会人年代を対象にしたものもあります。「学校」や「進学」に関連するテーマについては既にこれまでも実施してきていますが、今後も多様なテーマを実施できるよう努めます。

4. いけんひろばに対する意見（5/6）

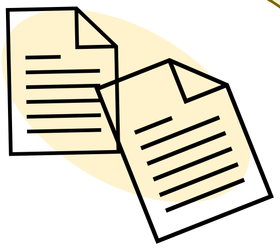
●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見

フィードバックをしっかりする



- ◆ もっとフィードバック資料に意見を詳しく書いてくれたら参加したくなります。
- ◆ どのようにして政治・政策に反映されているのか、どのようにして政治家に「いけんひろば」の意見が伝えられているのか、もっと見やすく、見える形にして欲しい。
- ◆ 伝えた意見のフィードバックに対して、さらに意見を伺う機会（チャットなど）があると意見の深堀りができそうだなと思いました。

反映のポイント

出された意見がどう扱われたか、示してほしい

フィードバック

- フィードバックが大事だと考えていますので、引き続きわかりやすい形でフィードバックするよう努めます。
（政策反映に向けた取組であるため、年単位の時間がかかることがあることをご理解ください。）
- いけんぷらすは、行政において国の取組を進めるにあたって行われているものであり、いわゆる「政治家」に伝えることを目的とした取組ではありません。
- いけんひろばの様子の報告やSNSでの発信を強化していきます。

4. いけんひろばに対する意見（6/6）

●青字：いけんひろばに参加したことがある人の意見
◆赤字：いけんひろばに参加したことがない人の意見

こどもまんなか こども家庭庁

どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思いますか？
どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか？
「こども若者★いけんぷらす」に対する疑問や意見があれば教えてください。

主なみなさんの意見

認知度を上げる

- ● まずは、もっと多くの若者に知ってもらうことから始めるべき。高校や大学などで宣伝広告を配ることなども有効だと思う。
- ● この取組を広めるため、メディアで特集してもらうと良いと思う。
- ● Instagramでの広報頻度をあげたり、市役所などにポスター1枚貼ったりして宣伝すると認知度向上に繋がると思う。
- ◆ いけんひろばの広報は、TikTokやYouTubeなど若者が使っているもので行った方が広まりやすいと思う。

その他

- ◆ 連絡の頻度がもう少し少なめだと、応募したくなったと思います。
- ● ぽんぱーの活動をある程度明示していった方が「こども・若者」が参画している様子をより多く表せると思う。
- ● 実績が知りたい。最初のうちは“”成し遂げたこと“”の印象が大切だと思う。実績を元に参加する人や興味を持つ人がいると思う。

反映のポイント

いけんぷらすの認知度を高めるために広報してほしい

いけんぷらすの効果や意義をわかりやすく効果的に示してほしい

フィードバック

- 広報については、いけんぷらすやいけんひろばの様子を知ってもらうため、登録者を増やすためなど様々な目的意識をもって、これまで様々な手法で行ってきていますが、令和7年度はSNSでの発信を強化するほか、学校での周知も進めています。引き続きみなさんが参加したくなるような周知に努めます。
- そのほかにも、みなさんの意見を大切に、より良い事業になるよう進めていきます。